

秋田県内に敵なし！ 20 連覇

～第 82 回都市対抗野球大会～

※第 82 回都市対抗野球大会は、電力事情を考慮し開催時期と会場（10 月 22 日から 11 日間・京セラドーム大阪）を変更しています。



貫禄の優勝

TDK 硬式野球部が、第 82 回都市対抗野球第 1 次予選秋田県大会で優勝し、秋田県代表として東北大会出場を決めました。秋田大会ではこれで 20 年連続優勝。2 年ぶりの本戦出場を期待しましょう。

◆第 1 次予選秋田県大会の結果

【決勝】 8 - 0 対大曲ベースボールクラブ

【準決勝】 17 - 0 対能代松陵クラブ

【2 回戦】 9 - 0 対ゴールデンリバーズ

◆第 2 次予選東北大会の予定

期 間 8 月 18 日(木)～ (6 日間)

会 場 秋田市 (こまちスタジアムほか)

恒例の『さなぶり花植え』

～ 水芭蕉公園の奉仕作業 ～

6 月 4 日、旧釜ヶ台小中学校前の水芭蕉公園で、釜ヶ台地区の全集落の住民により、毎年恒例の、花植えの奉仕作業が行われました。約 700 m²の花壇に、ペゴニア、マリーゴールド、サルビアなどの色鮮やかな花々が 6, 700 本植えられました。

今年で 19 年目。参加者たちも皆、慣れた様子で手際よく作業が進められていきました。忙しい田植えもひと段落したこの時期の開催とあって、さなぶり行事として住民たちの憩いの時間となっています。釜ヶ台地区に彩りを添える水芭蕉公園へ、市民の皆さんもどうぞ。



毎年、息ぴったりの作業！



「あがりこ大王」の前で説明を聞く参加者たち

新緑の森を満喫！

～ 獅子ヶ鼻湿原開き ～

中島台レクリエーションの森で 5 月 21 日、観光案内人協会主催による『獅子ヶ鼻湿原開き』が行われました。湿原を広く PR しようと企画され、市内外から訪れた 61 名の観光客と関係者など 29 名が観光シーズン到来を祝いました。

セレモニー終了後、15 名の案内人が、7 班に別れた観光客を無料で案内。奇形ブナのあがりこ大王、湧水の出つば、鳥海マリモなどを約 2 時間半掛けて巡りました。観光客は、案内人の丁寧な説明で、新緑に包まれたブナの森を満喫できたようでした。

子どもたちの健康を祈る

～ 旧暦端午の節句 しょうぶよもぎ ～

赤石地区で 6 月 4 日、子ども行事『しょうぶよもぎ』が行われました。

この行事は、「ごんがごえのしょうぶよもぎのばっちやばちや、鬼のまなくつぶえれ」の歌に合わせ、菖蒲と蓬を稲わらで包み縄で巻いた棒を、縄が切れるまで赤石川の橋上を叩きます。次に、そのわらで作った約 5 m の大蛇を渦巻状にし、「どんつきどん」のかけ声とともに子どもたちを胴上げします。最後に、大蛇を地区内の大きな木まで運び、その木に巻き付けお祈りをします。

子どもたちの身体堅固、無病息災を祈る伝統行事です。



「どんつきどん」のかけ声とともに胴上げ

雨に悩まされる？

～ 作占い『おためし』諏訪神社・関～

6 月 5 日、関地区の諏訪神社で作占い『おためし』が行われました。同神社の例祭で毎年行われています。

占いは 1 週間前から準備。盛り土に米粒を蒔き、小さな御幣を差し込んで、それらの状況からコメの作況や天候などを占うもの。占うのは氏子中の 3 家の世襲制とのことで、ここ数十年、竹内弘幸さんが務めています。

竹内さんは、占い所の柵を囲む人々と言葉を掛け合い、時に笑いをとりながら「作況は全体的に平年並み。昨年ほどの猛暑にはならない。農作業は雨に悩まされそう」と見立てました。当たるも…、当たらずも…。



占い所を囲んで聞き耳をたてる

S さわやかスポーツ

- 【第 3 位】
- ソフトボール女子 (象潟中)
- 【準優勝】
- ソフトテニス男子団体 (象潟中)

【優勝】

- ソフトテニス男子個人
- (篠原颯人・佐々木一輝組 / 象潟中)

秋田県中学校 春季大会結果



秋田県知事表彰 (遺族援護活動)

長年に渡る、遺族 (戦傷病者や戦没者遺族) 援護活動への功績が認められ、表彰を受けられました。

佐藤 亮悦 さん (夢が丘区)